

平成31年度4月入学
平成30年度10月入学

北海道大学大学院工学院

修士課程

学生募集要項

北海道大学大学院工学院

平成31年4月入学
一般入試 募集人員

専攻	募集人員	専攻	募集人員
応用物理学	33名	北方圏環境政策工学	26名
材料科学	39名	建築都市空間デザイン	22名
機械宇宙工学	99名	空間性能システム	27名
人間機械システムデザイン		環境創生工学	28名
エネルギー環境システム		環境循環システム	18名
量子理工学		共同資源工学	10名
環境フィールド工学	24名	計	326名

平成30年10月入学
一般入試 募集人員

専攻	募集人員	専攻	募集人員
応用物理学	若干名	建築都市空間デザイン	若干名
環境フィールド工学	若干名	空間性能システム	若干名
北方圏環境政策工学	若干名		

目次

教育目標とアドミッションポリシー	1
平成31年4月入学試験に関する要項	
一般入試	
1. 募集人員	2
2. 出願資格	2
3. 出願資格予備審査申請期間等	3
4. 出願資格予備審査申請者提出書類	3
5. 願書受理期間等	3
6. 検定料について	4
7. 出願書類及び学科試験について	4
8. 外国語試験について	5
9. 試験場	5
10. 合格発表	5
11. 入学料及び授業料（予定額）	6
12. e ³ プログラムについて	6
13. 長期履修制度について	6
14. 注意事項	6
15. 個人情報の取扱いについて	6
16. 試験成績の開示について	6
17. その他	7
18. 出願書類及び学科試験について	8
・ 応用物理学専攻	8
・ 材料科学専攻	10
・ 機械宇宙工学専攻	12
・ 人間機械システムデザイン専攻	12
・ エネルギー環境システム専攻	12
・ 量子理工学専攻	12
・ 環境フィールド工学専攻	14
・ 北方圏環境政策工学専攻	14
・ 環境創生工学専攻	14
・ 建築都市空間デザイン専攻	16
・ 空間性能システム専攻	16
・ 環境循環システム専攻	18
・ 共同資源工学専攻	18
平成30年10月入学試験に関する要項	
一般入試	20
長期履修の申請資格，申請手続き等について	22
指導教員及びその研究分野一覧表	23

【本学院所定用紙等とじ込み】

修士課程出願書類チェック表

志望専攻一覧

- ①入学願書・履歴書
- ②受験者写真票・受験票
- ③検定料受付証明書貼付用紙
- ④研究室希望調査票（材料科学専攻）
- ⑤研究室希望調査票（機械・宇宙航空工学系研究室群）
- ⑥研究室希望調査票（応用量子科学系研究室群）
- ⑦研究室希望調査票（環境フィールド工学専攻，北方圏環境政策工学専攻，環境創生工学専攻）
- ⑧研究室希望調査票（建築都市空間デザイン専攻，空間性能システム専攻）
- ⑨研究室希望調査票（環境循環システム専攻，共同資源工学専攻）
- ⑩志望理由書
- ⑪修士課程出願資格予備審査申請書
- ⑫検定料の払込みについて（払込票添付）
 - *ア 封筒（受験票送付用・合否通知用）
 - *イ 連絡受信先シール（出願時提出用）

教育目標とアドミッションポリシー

教育目標

本学院の目標は、学問の継承及び創造を通じて、工学分野の基礎的素養及び高度な専門的素養を身に付けた、国際化、科学技術の高度化、学際化等に対応できる多様な知識、判断力及び実務対応能力を持つ人材を育成することにあります。

アドミッションポリシー

本学院では、理工系の専門分野を卒業し、工学分野の修士、博士の学位を取得しようとする人物、並びに学部卒業後に社会で活躍しながら博士の学位を取得しようとする有為の人物を選抜しています。外国人留学生についても、積極的に受け入れています。社会人と外国人の入学試験合格者は、4月あるいは10月に入学することができます。

修士課程の入学試験では、語学と専門に関する筆答試験及び口頭試問を実施します。筆答試験は、各専攻の専門分野における基礎科目及び専門科目の習熟度を計る試験を行いますが、広く人材を受け入れるために、多くの科目から受験科目を選択できるように配慮しています。

博士後期課程の入学試験では、語学と専門に関する筆答試験と研究能力を評価する口頭試問を実施します。

また、専攻によっては、学業成績優秀者、企業などにおける研究開発等の業績が顕著な人物に対して筆答試験を免除しているところもあります。

平成31年4月入学試験に関する要項

一般入試

1. 募集人員

専攻	募集人員	専攻	募集人員
応用物理学	33名	北方圏環境政策工学	26名
材料科学	39名	建築都市空間デザイン	22名
機械宇宙工学	99名	空間性能システム	27名
人間機械システムデザイン		環境創生工学	28名
エネルギー環境システム		環境循環システム	18名
量子理工学		共同資源工学	10名
環境フィールド工学	24名	計	326名

2. 出願資格

- (1) 大学を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者又は平成31年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（注1）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（注2）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は平成31年3月31日までに授与される見込みの者
 （注1）その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。
 （注2）当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
 ※各省庁所管の各種の教育訓練施設のうち、大学の学部に対応する教育課程を履修させているもの（防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、職業訓練大学校長指導員訓練課程、気象大学校大学部）を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者等
- (9) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程若しくは我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を履修した者

る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認められた者（以下「飛び入学による志願者」という。）

(10) 本学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成31年3月31日までに22歳に達する者（以下「個別の資格審査による志願者」という。）

※平成30年10月入学を希望する者は、20～21ページを参照すること。

3. 出願資格予備審査申請期間等

平成30年6月6日（水）午前8時30分から6月12日（火）午後5時まで

上記2. 出願資格の（9）及び（10）による志願者は、願書を受理する前に出願資格に関する予備審査を行いますので、この期間内に願書類等（8～19ページ参照）に4. 出願資格予備審査申請者提出書類を添えて願書を出してください。郵送の場合も期間内に必着のこととします。

（願書受付は午前8時30分から午後5時までです。）

（注）出願資格予備審査の結果については、平成30年6月25日（月）に通知書を発送するので、出願資格を認められた者は、5. 願書受理期間等の期間内に検定料を納入し、納入に際しインターネット出願サイトを利用した場合は「支払完了通知」をプリントアウトしたもの、払込書を使用した場合は「受付局日附印」を押し印した検定料受付証明書を郵送してください。所定の期間内に検定料を納入しない場合は、願書を受理しません。

4. 出願資格予備審査申請者提出書類

出願資格が（9）及び（10）に当てはまる場合は、願書類等（8～19ページ参照）に加えて下記の書類が必要です。3. 出願資格予備審査申請期間等の期間内に、志望する指導教員の確認印や志望する専攻の専攻長の確認印を受けたいうえで提出してください。

出願資格	提出書類
(9) 飛び入学による出願者	<ul style="list-style-type: none"> ○出願資格予備審査申請書（とじこみ用紙①） ○出願資格予備審査結果通知用封筒（長形3号の封筒に郵便番号、住所（研究室不可）及び氏名を明記し、82円切手を貼付してください） ○在学証明書（本学工学部に在学中の者は不要）
(10) 個別の資格審査による志願者	<ul style="list-style-type: none"> ○出願資格予備審査申請書（とじこみ用紙①） ○出願資格予備審査結果通知用封筒（長形3号の封筒に郵便番号、住所（研究室不可）及び氏名を明記し、82円切手を貼付してください） * 高等専門学校、短期大学の卒業者、専修学校・各種学校の卒業者、外国人学校の卒業者など大学卒業資格を有していない者は以下の書類が必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ・最終出身学校等の卒業証明書 ・高等学校及び最終出身学校等の成績証明書 ・最終出身学校卒業後の学修・研究歴又は実務経験等について証する所属長等の証明書（様式任意） ・これまでの学修・研究内容及び大学院入学後の研究計画をまとめたもの（800字程度、様式任意）

5. 願書受理期間等

平成30年7月2日（月）午前8時30分から7月6日（金）午後5時まで

2. 出願資格の（1）から（8）により出願する者は、この期間内に願書類等（8～19ページ参照）を提出してください。郵送の場合も期間内に必着のこととします。

（願書受付は午前8時30分から午後5時までです。）

6. 検定料について

検定料は、以下の2通りの支払い方法があります。

支払い方法1. コンビニエンスストア、クレジットカード、ネットバンキング等で支払う
・「インターネット出願サイト (<http://e-apply.jp/e/hokudai-eng>)」を通じて支払いを行います。

・支払い方法は、コンビニエンスストア、郵便局・銀行ATM、ネットバンキング、クレジットカード、中国銀聯網決済の中から選択ができます。(支払いに際し、決済手数料500円が必要となります)

・支払い方法の詳細については、インターネット出願サイトをご覧ください。

・インターネット出願サイトを利用して検定料を納付した場合、願書の検定料支払い項目欄に「インターネット出願サイトを通じての支払い」に✓印を付すとともに、検定料納付後に登録したメールアドレスに届く「支払完了通知」をプリントアウトの上、提出してください。なお、「支払完了通知」が届くまで時間がかかる場合がありますので、支払いの時期には十分にご注意ください。



※インターネット出願サイトでは検定料の支払いのみ可能です。サイトに記載の出願フローとは異なり、出願書類はとじ込みの様式を使用し提出することが必要です。出願書類が本学院に出願期間内に到着した時点をもって、出願手続完了となりますのでご注意ください。

支払い方法2. 添付の「払込票 (とじ込み用紙⑫)」で郵便局・銀行窓口で支払う

・検定料支払い後、検定料受付証明書貼付用紙 (とじ込み用紙③) に検定料受付証明書を貼付し、出願書類と一緒に提出して下さい。(支払いに際し、郵便局・銀行の所定の手数料が必要となります)

・支払い方法の詳細については、とじ込み用紙⑫の「検定料の払込みについて」をご覧ください。

・願書の検定料支払い項目欄に「払込票での支払い」に✓印を付して提出して下さい。

既納の検定料はいかなる理由があっても返還しませんので、ご注意願います。ただし、次の場合のみ返還に応じます。

①検定料を払い込んだが北海道大学に出願しなかった (出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった) 場合

②検定料を誤って二重に払い込んだ場合

7. 出願書類及び学科試験について

志望する専攻ごとに8～19ページに記載しています。

なお、すべての試験 (筆答・口述・口頭試問) は日本語で実施されます。

8. 外国語試験について

①外国語試験の実施方法について

外国語試験については、試験当日の筆記試験は実施せず、出願時に提出された本学院指定の外国語外部試験（TOEIC, TOEFL, IELTS）のスコアをもって外国語試験の成績として判定します。

提出可能な試験のスコアは以下のとおりです。

提出可能な試験	提出不可な試験
TOEIC Listening & Reading Test	TOEIC IP, TOEIC Speaking & Writing Tests, TOEIC Speaking Test, TOEIC Bridge Test
TOEFL iBT	TOEFL ITP
IELTS（アカデミック・モジュール）（※）	IELTS（ジェネラル・トレーニング・モジュール）

（※）IELTSのスコアについては、出願する専攻によって取扱いが異なります。

材料科学専攻、環境創生工学専攻については、IELTSのスコアの提出が認められませんので、ご注意願います。

提出可能な外国語外部試験のスコアは、入学試験実施日（平成30年8月8日）から2年以内に受験した試験に限ります。ただし、機械宇宙工学専攻、人間機械システムデザイン専攻、エネルギー環境システム専攻、量子理工学専攻を志望する志願者については、同3年以内に受験した試験のスコアの提出も認めます。

②提出方法について

入学願書提出時に、顔写真付きの公式スコアシート（認定証）のコピーを提出することが必要です。出願の時点で公式スコアが発行されていないもの（該当の試験は受験したが、まだ結果が届いていないもの）については、出願書類として認められませんので、外部試験の日程には十分注意をして受験するようにして下さい。なお、複数種類のスコアを取得していても、提出できるスコアシートは1つのみです。

なお、公式スコアシート（認定証）は、試験実施事務局から直接本学院に郵送する方法での受付はしておりません。その他の出願書類と一緒に出願時に提出するようにして下さい。

③英語により大学（院）教育を受けた外国人留学生志願者について

英語により大学（院）教育を受けた外国人留学生については、スコアシートの提出を免除します。該当する志願者は、出願時に英語により大学（院）教育を受けてきたことを示す書類（大学等が公式に発行したものに限り）を出願書類に添付してください。当該書類が添付されていない場合、免除は認められません。

9. 試験場

北海道大学工学院（詳細は試験前日に工学院正面玄関に掲示します。）

試験日程については、8～19ページで確認願います。

10. 合格発表

合格者の受験番号は平成30年8月31日（金）午後5時頃に工学院正面玄関ホール及び本学院ホームページにおいて掲示発表の予定です。

別に受験者全員に対し可否を通知します。

なお、入学手続きに関しては平成31年2月中旬に合格者に対して通知します。

（入学手続き期間など重要なことが記載されておりますので、2月下旬までに届かない場合は19ページに記載の教務課大学院担当までご連絡下さい。）

11. 入学料及び授業料（予定額）

- (1) 入 学 料 282,000円
- (2) 平成31年度前期分授業料 267,900円（年額535,800円）

(注) ①入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金が適用されます。
②入学手続期間内に入学料を納めなければ、入学の意志がないものとして取り扱います。
③授業料を2期末納すると除籍になります。経済的理由により納付が困難な場合は、免除（猶予）申請もあります。

12. e³プログラムについて

本学院では、英語を使用言語として修士及び博士の学位取得が可能な、グローバル工学人材養成プログラムによるe³プログラム（English Engineering Education Program, 略称e³）を設置しています。

本プログラムでは、課程修了に必要な授業が英語で開講され、論文発表、研究指導なども全て英語で行われます。プログラムへ参加を希望する場合、大学院入学試験に合格したうえで、以下のe³プログラムのホームページに示す英語力の資格を満たすことが必要です。（<http://www.eng.hokudai.ac.jp/e3/>）

参加の申し込みに当たっては、指導予定教員とよく相談をするようにしてください。

※ 日本人学生が、e³プログラムに参加した場合は、希望者に対して選考のうえ奨学金を給付します。

13. 長期履修制度について

長期履修制度とは、職業を有している等の事情で、単位取得や研究指導を受ける時間に制限のある学生が、標準修業年限（修士課程2年）を超えて計画的に学修することを希望した場合、学生からの申請に基づき学院において審査を行い、その長期的な履修を認めることができる制度です。申請資格、申請手続き等は22ページのとおりにあります。なお、長期履修の申請に当たっては、事前に、指導予定教員とよく相談をしてください。

14. 注 意 事 項

- (1) 入学試験当日は、受験票を必ず持参して机の上に置いてください。
- (2) 出願書類等に不備がある場合は受理できませんので、誤記や記入漏れのないように注意してください。
- (3) 出願に係る全ての書類は願書受理期間内に提出してください。願書受理期間終了後は、不足した書類に係る相談は受け付けられません。
- (4) 出願後はいかなる事情があっても志望の変更を認めません。
- (5) 一度受理した出願書類は、いかなる事情があっても返還しません。
- (6) 出願書類等に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがあります。

15. 個人情報の取扱いについて

- (1) 本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人北海道大学個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
- (2) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選考実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、⑤及びこれらに付随する業務を行うために利用します。
- (3) 各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあります。業務委託に当たり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部が提供されます。
- (4) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報は、合格者のみ入学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、③授業料等に関する業務を行うために利用します。（共同資源工学専攻の出願者に係る個人情報は、九州大学においても①、②の業務を行うために利用します。）
- (5) (4)の個人情報のうち、氏名、住所に限って、北大フロンティア基金及び本学関連団体である、①北海道大学体育会、②北海道大学工学部北工会からの連絡を行うために利用する場合があります。

16. 試験成績の開示について

本学院では、受験者本人からの請求に基づき、本入学試験に係る成績の開示を行います。開示の請求期間は、平成30年10月1日（月）から10月12日（金）です。請求方法については、本学院ホームページを確認してください。

17. そ の 他

- (1) 願書等は、北海道大学工学系事務部教務課大学院担当（②番窓口）に提出してください。
- (2) 願書等を郵送する場合は、必ず書留郵便とし、「大学院入学願書在中」と朱書してください。

【送付先】

〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目

北海道大学工学系事務部 教務課 大学院担当

- (3) 入学願書を受理した者には、平成30年7月下旬に受験票を送付します。
- (4) 専攻によっては平成31年2月に第2次募集を行うことがあります。
- (5) 入学志願者で身体に障害のある者は、あらかじめ受験上や修学上の対応が必要となる場合があるので、平成30年7月6日（金）までに教務課大学院担当に申し出てください。
- (6) 専門科目の過去の試験問題の一部を、本学院ホームページで公表しています。
(<http://www.eng.hokudai.ac.jp/graduate/>)
- (7) 8月の入学試験に合格した者は、日本学生支援機構大学院奨学生の予約採用（学部在学中に修士課程進学後の奨学金貸与を内定する制度）に応募できます。

18. 出願書類及び学科試験について

応用物理学専攻

① 出願書類

	提出書類	備考
1	入学願書・履歴書（とじ込み用紙①）	本学所定様式
2	受験者写真票・受験票（とじ込み用紙②）	本学所定様式（写真貼付）
3	検定料（30,000円）支払完了通知のコピー もしくは検定料受付証明書 （とじ込み用紙③、⑫）	<ul style="list-style-type: none"> ・検定料は、2通りの納付方法があります（詳細は、「6. 検定料について」を参照）。 ・インターネット出願サイトを通じて納付した場合は、納付時に登録したメールアドレスに届く「支払完了通知」をプリントアウトしたものを提出。 ・払込書を使用して納付した場合は、検定料受付証明書をとじ込み用紙③に貼付し提出。 ・本学に在籍する国費外国人留学生は不要。
4	受験票送付用及び合否通知用封筒	郵便番号、住所（研究室不可）、氏名及び志望専攻名を明記。封筒の切手欄に指示してある金額の切手を貼付。合否通知用封筒には切手の貼付不要。
5	連絡受信先シール（出願時提出用）	<ul style="list-style-type: none"> ・郵便番号、住所（研究室不可）、氏名及び志望専攻名を明記。 ・出願後に転居等で連絡受信先を変更する場合は、教務課大学院担当に申し出ること。
6	出身大学（学部）の成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・本学工学部出身者は提出不要。 ・出願資格(7)による志願者は、高等学校及び最終出身学校等の学業成績証明書。 ・証明書の原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、公的な和訳又は英訳の原本を添付すること。
7	卒業（見込）証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・本学工学部出身者及び出願資格(9)による志願者は、提出不要。 ・出願資格(2)による志願者は、大学評価・学位授与機構が発行する学位授与（申請受理）証明書も提出。 ・証明書の原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、公的な和訳又は英訳の原本を添付すること。
8	【外国人留学生のみ提出】 最終出身学校の指導教員の推薦書	様式任意。本学工学部出身者は提出不要。
9	【外国人留学生のみ提出】 在留カード又は外国人登録証明書のコピー	本邦外に居住する外国人で本邦に上陸の日から60日を超えない外国人については代わりにパスポートのコピー。
10	志望理由書（とじ込み用紙⑩）	<ul style="list-style-type: none"> i) 本学工学部出身者以外の者…提出 ii) 本学工学部出身者で口述試験を希望する者…提出
11	本学院が指定する外国語外部試験の公式スコアシートのコピー	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細は、「8. 外国語試験について」を参照すること。 ・英語により大学（院）教育を受けた外国人留学生のうち、スコアシートの提出の免除を希望する者は、「英語により大学（院）教育を受けてきたことを示す書類（大学等が公式に発行したものに限る）」を提出すること。 ・公式スコアシートの原本は、口頭試問の際に確認するので、口頭試問の際に持参すること。原本が確認できない場合、スコアが認められないことがあります。
12	推薦書	口述試験希望者のうち「③ 口述試験について」に記載の(1)に該当する者のみ提出。様式任意（500字程度、成績順位（何人中何位）を記載のこと）。

② 選考方法

学科試験（筆答・口頭又は口述・口頭）及び出願書類等の審査結果を総合して合否を決定します。

注）成績証明書の内容によって、筆答試験を免除することがあります。

※免除される者に対しては、7月下旬に通知します。

③ 口述試験について

応用物理学専攻の受験者のうち、次の3項のいずれかに該当する者は、専門科目の筆答試験に代えて口述試験（研究テーマ及びそれに関わる基礎学力について）を希望することができます。

- (1) 在籍している大学の学科の長又は高等専門学校専攻科の長が推薦する成績優秀者で、かつ合格した場合の入学を確約する者
- (2) 応用物理学科・物理学科（及びそれらに準ずる学科）以外の学科を卒業又は卒業見込みの者、及び高等専門学校専攻科を修了又は修了見込みの者
- (3) 社会人（大学卒業者については、受験時に卒業後1年以上経過していること）

口述試験希望者は願書にその旨を明記し、①出願書類に記載のように下記の書類を添付してください。

ただし、上記3項に該当するか否かは当専攻において審査し、受験票発送と同時に受験者に通知します。

該当しないと通知された受験者は筆答試験を受けることになります。

不明な点は当専攻長に問い合わせてください。

口述試験希望者の添付書類：志望理由書（とじ込み用紙⑩），上記（1）項の該当者の場合は，志望理由書に加えて，成績順位（何人中何位）を記載した推薦書（500字程度，様式任意）。

④ 学科試験の期日・時間及び試験科目

試験期日	時間	試験科目	
平成30年 8月8日(水)	9:00～ 12:00	筆答試験	応用数学Ⅰ（常微分方程式，フーリエ解析，ラプラス変換，偏微分方程式），力学，電磁気学
	13:00～ 16:00	筆答試験	応用数学Ⅱ（ベクトル解析，複素関数，行列），熱・統計力学，量子力学
8月9日(木)	13:00～ 16:00	口頭試問	

※ 口述試験を受ける者については，学科試験を次のとおり行います。

また，「③ 口述試験について」を参照して下さい。

学科試験の期日及び時間（口述試験受験者）

試験期日	試験科目	時間	試験場	備考
平成30年8月8日(水)	口述試験・口頭試問	13:00～18:00	工学院 詳細は掲示します。	

口述試験では，研究テーマ（及びそれに関わる基礎学力）に関する試問を実施します。各自の口述試験・口頭試問試験日は受験票発送と同時に通知します。

材料科学専攻

① 出願書類

	提出書類	備考
1	入学願書・履歴書（とじ込み用紙①）	本学所定様式
2	受験者写真票・受験票（とじ込み用紙②）	本学所定様式（写真貼付）
3	検定料（30,000円）支払完了通知のコピーもしくは検定料受付証明書（とじ込み用紙③、⑫）	<ul style="list-style-type: none"> ・検定料は、2通りの納付方法があります（詳細は、「6. 検定料について」参照）。 ・インターネット出願サイトを通じて納付した場合は、納付時に登録したメールアドレスに届く「支払完了通知」をプリントアウトしたものを提出。 ・払込書を使用して納付した場合は、検定料受付証明書をとじ込み用紙③に貼付し提出。 ・本学に在籍する国費外国人留学生は不要。
4	受験票送付用及び合否通知用封筒	郵便番号、住所（研究室不可）、氏名及び志望専攻名を明記。封筒の切手欄に指示してある金額の切手を貼付。合否通知用封筒には切手の貼付不要。
5	連絡受信先シール（出願時提出用）	<ul style="list-style-type: none"> ・郵便番号、住所（研究室不可）、氏名及び志望専攻名を明記。 ・出願後に転居等で連絡受信先を変更する場合は、教務課大学院担当に申し出ること。
6	出身大学（学部）の成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・本学工学部出身者は提出不要。 ・出願資格(7)による志願者は、高等学校及び最終出身学校等の学業成績証明書。 ・証明書の原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、公的な和訳又は英訳の原本を添付すること。
7	卒業（見込）証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・本学工学部出身者及び出願資格(9)による志願者は、提出不要。 ・出願資格(2)による志願者は、大学評価・学位授与機構が発行する学位授与（申請受理）証明書も提出。 ・証明書の原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、公的な和訳又は英訳の原本を添付すること。
8	【外国人留学生のみ提出】最終出身学校の指導教員の推薦書	様式任意。本学工学部出身者は提出不要。
9	【外国人留学生のみ提出】在留カード又は外国人登録証明書のコピー	本邦外に居住する外国人で本邦に上陸の日から60日を超えない外国人については代わりにパスポートのコピー。
10	志望理由書（とじ込み用紙⑩）	本学所定様式。
11	研究室希望調査票（とじ込み用紙④）	<ul style="list-style-type: none"> ・本学所定様式 ・専攻内全11研究室に対して、配属希望順位を必ず記入。
12	本学院が指定する外国語外部試験の公式スコアシートのコピー	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細は、「8. 外国語試験について」を参照すること。 ・英語により大学（院）教育を受けた外国人留学生のうち、スコアシートの提出の免除を希望する者は、「英語により大学（院）教育を受けてきたことを示す書類（大学等が公式に発行したものに限る）」を提出すること。 ・公式スコアシートの原本は、口頭試問の際に確認するので、口頭試問の際に持参すること。原本が確認できない場合、スコアが認められないことがあります。
13	【任意提出】研究計画書	「④口述試験について」に記載の口述試験を希望する者のみ提出。様式任意（A4判1ページ、1000字程度、図表可）。

② 選考方法

学科試験（筆答又は口述・口頭）及び出願書類等の審査結果を総合して合否を決定します。

注）「成績証明書」の内容によって、筆答試験を免除することがあります。

※免除される者に対しては、7月下旬に通知します。

③ 学科試験の期日及び時間

試験期日	時間	試験科目	備考
平成30年 8月8日(水)	9:00～ 12:00	筆答試験 ○材料物理化学 ○材料物性学	それぞれの科目は、3題から構成され、2題を選択してください。
	13:00～ 16:00	筆答試験 ○材料プロセス工学 ○材料組織学	それぞれの科目は、3題から構成され、2題を選択してください。
8月9日(木)	9:00～ 12:00	口頭試問	

④ 専門科目の筆答試験に代わる口述試験の実施について

本学の工学部応用理工系学科応用マテリアル工学コース以外の学科（コース）を卒業又は卒業見込みの者、及び高等専門学校専攻科を修了又は修了見込みの者については、筆答試験に代えて口述試験（研究計画及び材料科学に関わる基礎学力について）を希望することができます。口述試験の希望者は、研究計画書（A4判1ページ、1000字程度、図表可）を添付してください。ただし、合格した場合にこの研究計画の実施を保証するものではありません。口述試験は筆答試験の時間帯に別会場で実施します。口述試験とは別に口頭試問も行われます。詳細は受験票送付時に連絡します。

機械宇宙工学専攻，人間機械システムデザイン専攻，エネルギー環境システム専攻，量子理工学専攻

【重要】上記4専攻は合同で募集を行います。

専攻単位での募集は行いませんので，ご注意ください。

① 出願書類

	提出書類	備考
1	入学願書・履歴書（とじ込み用紙①）	本学所定様式
2	受験者写真票・受験票（とじ込み用紙②）	本学所定様式（写真貼付）
3	検定料（30,000円）支払完了通知のコピーもしくは検定料受付証明書（とじ込み用紙③，⑫）	<ul style="list-style-type: none"> ・検定料は，2通りの納付方法があります（詳細は，「6．検定料について」参照）。 ・インターネット出願サイトを通じて納付した場合は，納付時に登録したメールアドレスに届く「支払完了通知」をプリントアウトしたものを提出。 ・払込書を使用して納付した場合は，検定料受付証明書をとじ込み用紙③に貼付し提出。 ・本学に在籍する国費外国人留学生は不要。
4	受験票送付用及び合否通知用封筒	郵便番号，住所（研究室不可），氏名及び志望専攻名を明記。封筒の切手欄に指示してある金額の切手を貼付。合否通知用封筒には切手の貼付不要。
5	連絡受信先シール（出願時提出用）	<ul style="list-style-type: none"> ・郵便番号，住所（研究室不可），氏名及び志望専攻名を明記。 ・出願後に転居等で連絡受信先を変更する場合は，教務課大学院担当に申し出ること。
6	出身大学（学部）の成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・本学工学部出身者は提出不要。 ・出願資格(7)による志願者は，高等学校及び最終出身学校等の学業成績証明書。 ・証明書の原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は，公的な和訳又は英訳の原本を添付すること。
7	卒業（見込）証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・本学工学部出身者及び出願資格(9)による志願者は，提出不要。 ・出願資格(2)による志願者は，大学評価・学位授与機構が発行する学位授与（申請受理）証明書も提出。 ・証明書の原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は，公的な和訳又は英訳の原本を添付すること。
8	【外国人留学生のみ提出】 最終出身学校の指導教員の推薦書	様式任意。本学工学部出身者は提出不要。
9	【外国人留学生のみ提出】 在留カード又は外国人登録証明書のコピー	本邦外に居住する外国人で本邦に上陸の日から60日を超えない外国人については代わりにパスポートのコピー。
10	研究室希望調査票（とじ込み用紙⑤，⑥）	<ul style="list-style-type: none"> ・本学所定様式 ・各試験区分内の全ての研究室に対して，配属希望順位を必ず記入
11	志望理由書（とじ込み用紙⑩）	<ul style="list-style-type: none"> i) 本学工学部出身者以外の者…提出 ii) 本学工学部出身者…提出不要（ただし，専攻長が特に指示した者は，この限りではない）
12	本学院が指定する外国語外部試験の公式スコアシートのコピー	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細は，「8．外国語試験について」を参照すること。 ・英語により大学（院）教育を受けた外国人留学生のうち，スコアシートの提出の免除を希望する者は，「英語により大学（院）教育を受けてきたことを示す書類（大学等が公式に発行したものに限る）」を提出すること。 ・公式スコアシートの原本は，口頭試問の際に確認するので，口頭試問の際に持参すること。原本が確認できない場合，スコアが認められないことがあります。

② 選考方法

学科試験（筆答・口頭）及び出願書類等の審査結果を総合して合否を決定します。

注）「成績証明書」の内容によって筆答試験を免除することがあります。

※ 免除される者に対しては，7月下旬に通知します。

③ 試験区分と研究室群

入学を志望する研究室に応じて試験区分が異なります。試験区分の異なる研究室を併願することはできません。試験区分と研究室の対応は以下のとおりです。

A. 機械・宇宙航空工学系研究室群

・機械宇宙工学専攻の全研究室

「材料機能工学」，「材料力学」，「熱流体物理学」，「宇宙環境システム工学」，「宇宙環境応用工学」，「計算流体工学」

・人間機械システムデザイン専攻の全研究室

「変形制御学」, 「バイオメカニカルデザイン」, 「マイクロバイオメカニクス」, 「ロボティクス・ダイナミクス」, 「知的構造システム」, 「マイクロエネルギーシステム」

- ・エネルギー環境システム専攻の以下の研究室

「エネルギー変換システム」, 「流れ制御」, 「エンジンシステム」

B. 応用量子科学系研究室群

- ・エネルギー環境システム専攻の以下の研究室

「原子炉工学」, 「原子力システム安全工学」, 「原子力環境材料学」

- ・量子理工学専攻の全研究室

「量子ビーム材料工学」, 「中性子ビーム応用理工学」, 「プラズマ環境プロセス」, 「プラズマ材料工学」, 「量子ビーム応用医工学」, 「プラズマ生体応用工学」, 「量子エネルギー変換材料」, 「触媒表面研究部門」

④ 学科試験の期日及び時間

試験区分ごとの学科試験の期日及び時間は以下のとおりです。

A. 機械・宇宙航空工学系研究室群

試験期日	時間	試験科目	
平成30年 8月8日(水)	9:00~ 12:00	筆答試験	材料力学(2問), 機械力学と制御工学(各1問, 計2問)を必答
	13:00~ 16:00	筆答試験	流体力学(2問), 熱力学(2問)を必答
8月9日(木)	9:00~ 12:00	口頭試問	

各科目の内容の詳細については, 下記のホームページを参照ください。

http://mech-hm.eng.hokudai.ac.jp/~mech/contents/entrance_ex.html

B. 応用量子科学系研究室群

試験期日	時間	試験科目	
平成30年 8月8日(水)	9:00~ 12:00	筆答試験	応用数学(3問中2問選択)
	13:00~ 16:00	筆答試験	電磁気学(3問), 材料科学(3問), 原子物理・原子炉工学(3問)の計9問から3問を選択
8月9日(木)	9:00~ 12:00	口頭試問	

各科目の内容の詳細については, 下記のホームページを参照ください。

http://mech-hm.eng.hokudai.ac.jp/~mech/contents/entrance_ex.html

環境フィールド工学専攻、北方圏環境政策工学専攻、環境創生工学専攻

① 出願書類

	提出書類	備考
1	入学願書・履歴書（とじ込み用紙①）	本学所定様式
2	受験者写真票・受験票（とじ込み用紙②）	本学所定様式（写真貼付）
3	検定料（30,000円）支払完了通知のコピー もしくは検定料受付証明書 （とじ込み用紙③、⑫）	<ul style="list-style-type: none"> ・検定料は、2通りの納付方法があります（詳細は、「6. 検定料について」参照）。 ・インターネット出願サイトを通じて納付した場合は、納付時に登録したメールアドレスに届く「支払完了通知」をプリントアウトしたものを提出。 ・払込書を使用して納付した場合は、検定料受付証明書をとじ込み用紙③に貼付し提出。 ・本学に在籍する国費外国人留学生は不要。
4	受験票送付用及び合否通知用封筒	郵便番号、住所（研究室不可）、氏名及び志望専攻名を明記。封筒の切手欄に指示してある金額の切手を貼付。合否通知用封筒には切手の貼付不要。
5	連絡受信先シール（出願時提出用）	<ul style="list-style-type: none"> ・郵便番号、住所（研究室不可）、氏名及び志望専攻名を明記。 ・出願後に転居等で連絡受信先を変更する場合は、教務課大学院担当に申し出ること。
6	出身大学（学部）の成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・本学工学部出身者は提出不要。 ・出願資格(7)による志願者は、高等学校及び最終出身学校等の学業成績証明書。 ・証明書の原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、公的な和訳又は英訳の原本を添付すること。
7	卒業（見込）証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・本学工学部出身者及び出願資格(9)による志願者は、提出不要。 ・出願資格(2)による志願者は、大学評価・学位授与機構が発行する学位授与（申請受理）証明書も提出。 ・証明書の原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、公的な和訳又は英訳の原本を添付すること。
8	【外国人留学生のみ提出】 最終出身学校の指導教員の推薦書	様式任意。本学工学部出身者は提出不要。
9	【外国人留学生のみ提出】 在留カード又は外国人登録証明書のコピー	本邦外に居住する外国人で本邦に上陸の日から60日を超えない外国人については代わりにパスポートのコピー。
10	研究室希望調査票（とじ込み用紙⑦）	・本学所定様式
11	志望理由書（とじ込み用紙⑩）	・本学所定様式
12	本学院が指定する外国語外部試験の公式スコアシートのコピー	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細は、「8. 外国語試験について」を参照すること。 ・英語により大学（院）教育を受けた外国人留学生のうち、スコアシートの提出の免除を希望する者は、「英語により大学（院）教育を受けてきたことを示す書類（大学等が公式に発行したものに限る）」を提出すること。 ・公式スコアシートの原本は、口頭試問の際に確認するので、口頭試問の際に持参すること。原本が確認できない場合、スコアが認められないことがあります。

② 選考方法

学科試験（筆答・口頭）及び出願書類等の審査結果を総合して合否を決定します。

注）環境フィールド工学専攻及び北方圏環境政策工学専攻については、「成績証明書」の内容によって筆答試験を免除することがあります。

※免除される者に対しては、7月下旬に通知します。

③ 学科試験の期日及び時間

試験期日	時間	試験科目		備考
平成30年 8月8日(水)	9:00～ 12:00	筆答試験	数学（3問）： 線形代数学（行列，固有値），微分積分学（1変数・多変数関数の微分・積分），微分方程式（1階微分方程式，線形微分方程式）各1問 物理（3問）： 力学（2問）（質点系と剛体，力の釣り合いと運動），熱力学（1問）（熱と気体分子の運動，熱力学の第一法則，第二法則） 化学（2問）： 化学結合と分子の構造，化学平衡，化学反応速度論	3科目8問のうちから4問を選択してください。
	13:00～ 16:00	筆答試験	流体工学（2問），構造力学（2問），土の力学（2問），計画数理学（1問），地質学基礎（2問），物理化学（2問），微生物工学（1問），熱力学（1問），反応工学（1問），分離工学（1問），環境統計学（1問），地圏環境学（1問），コンクリート工学（1問）	全13科目（各1問もしくは2問）合計18問中から4問を選択してください。
8月9日(木)	9:00～ 12:00	口頭試験		

建築都市空間デザイン専攻、空間性能システム専攻

① 出願書類

	提出書類	備考
1	入学願書・履歴書（とじ込み用紙①）	本学所定様式
2	受験者写真票・受験票（とじ込み用紙②）	本学所定様式（写真貼付）
3	検定料（30,000円）支払完了通知のコピーもしくは検定料受付証明書（とじ込み用紙③、⑫）	<ul style="list-style-type: none"> ・検定料は、2通りの納付方法があります（詳細は、「6. 検定料について」参照）。 ・インターネット出願サイトを通じて納付した場合は、納付時に登録したメールアドレスに届く「支払完了通知」をプリントアウトしたものを提出。 ・払込書を使用して納付した場合は、検定料受付証明書をとじ込み用紙③に貼付し提出。 ・本学に在籍する国費外国人留学生は不要。
4	受験票送付用及び合否通知用封筒	郵便番号、住所（研究室不可）、氏名及び志望専攻名を明記。封筒の切手欄に指示してある金額の切手を貼付。合否通知用封筒には切手の貼付不要。
5	連絡受信先シール（出願時提出用）	<ul style="list-style-type: none"> ・郵便番号、住所（研究室不可）、氏名及び志望専攻名を明記。 ・出願後に転居等で連絡受信先を変更する場合は、教務課大学院担当に申し出ること。
6	出身大学（学部）の成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・本学工学部出身者は提出不要。 ・出願資格(7)による志願者は、高等学校及び最終出身学校等の学業成績証明書。 ・証明書の原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、公的な和訳又は英訳の原本を添付すること。
7	卒業（見込）証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・本学工学部出身者及び出願資格(9)による志願者は、提出不要。 ・出願資格(2)による志願者は、大学評価・学位授与機構が発行する学位授与（申請受理）証明書も提出。 ・証明書の原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、公的な和訳又は英訳の原本を添付すること。
8	【外国人留学生のみ提出】 最終出身学校の指導教員の推薦書	様式任意。本学工学部出身者は提出不要。
9	【外国人留学生のみ提出】 在留カード又は外国人登録証明書のコピー	本邦外に居住する外国人で本邦に上陸の日から60日を超えない外国人については代わりにパスポートのコピー。
10	研究室希望調査票（とじ込み用紙⑧）	・本学所定様式
11	志望理由書（とじ込み用紙⑩）	・本学所定様式
12	本学院が指定する外国語外部試験の公式スコアシートのコピー	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細は、「8. 外国語試験について」を参照すること。 ・英語により大学（院）教育を受けた外国人留学生のうち、スコアシートの提出の免除を希望する者は、「英語により大学（院）教育を受けてきたことを示す書類（大学等が公式に発行したものに限る）」を提出すること。 ・公式スコアシートの原本は、口頭試問の際に確認するので、口頭試問の際に持参すること。原本が確認できない場合、スコアが認められないことがあります。

② 選考方法

学科試験（筆答・口頭）及び出願書類等の審査結果を総合して合否を決定します。

③ 学科試験の期日及び時間

試験期日	時間		試験科目	備考
平成30年 8月8日(水)	9:00～ 12:00	筆答試験	【建築都市空間デザイン専攻】 建築都市学基礎（構造力学，建築構造，建築材料施工，建築環境，建築計画，建築・都市史，都市計画，都市防災）	2科目のうちから 1科目を選択してください。
			【空間性能システム専攻】 建築都市学基礎（同上） 環境工学基礎（応用数学，伝熱工学，工業熱力学，環境生理学，温熱環境工学）	
8月9日(木)	9:00～ 12:00	筆答試験	【建築都市空間デザイン専攻】 空間防災学，空間計画学	志望の専攻名の科目を選択してください。
			【空間性能システム専攻】 空間性能学，建築システム学	
8月9日(木)	9:00～ 12:00	口頭試問		

環境循環システム専攻、共同資源工学専攻

① 環境循環システム専攻と共同資源工学専攻は併願が可能です。

【共同資源工学専攻について】

共同資源工学専攻は、北海道大学大学院工学院と九州大学大学院工学府が共同して構成する大学院共同教育課程です。

- (1) 学生は双方の大学に在籍しますが、主指導教員（主として研究指導を担当する専任教員）が在籍する大学に本籍を置くことになります。
- (2) 学生は双方の大学の施設等を利用することができます。
- (3) 本籍を置く大学以外の構成大学の副指導教員からも、研究指導が受けられます。
- (4) メディアを利用した遠隔授業により、構成大学で開講する講義を本籍を置く大学から受講することができます。
- (5) 学位は、北海道大学、九州大学の連名により、修士（工学）の学位記が授与されます。

② 共同資源工学専攻に出願する人への注意事項

(1) 出願大学、受験大学について

出願及び受験については、志願する大学へ出願し、当該大学において入学者選抜試験を受験します。なお、出願（出願資格予備審査を含む）にあたっては、志願する大学の研究内容及び入試日程等を必ず確認してください。

(2) 本籍を置く大学について

入学後に本籍を置く大学は、原則として出願及び受験をした大学となります。したがって、入学料、授業料の納付、奨学金の申請等や学修、学生生活に係る手続きに関しては本籍の大学で行ってください。

(3) 出願上の注意

一方の大学に入学手続きをした者は、他方の大学の共同資源工学専攻の受験はできませんのでご注意ください。

③ 出願書類

	提出書類	備考
1	入学願書・履歴書（とじ込み用紙①）	本学所定様式
2	受験者写真票・受験票（とじ込み用紙②）	本学所定様式（写真貼付）
3	検定料（30,000円）支払完了通知のコピーもしくは検定料受付証明書（とじ込み用紙③、⑫）	<ul style="list-style-type: none"> ・検定料は、2通りの納付方法があります（詳細は、「6. 検定料について」参照）。 ・インターネット出願サイトを通じて納付した場合は、納付時に登録したメールアドレスに届く「支払完了通知」をプリントアウトしたものを提出。 ・払込書を使用して納付した場合は、検定料受付証明書をとじ込み用紙③に貼付し提出。 ・本学に在籍する国費外国人留学生は不要。
4	受験票送付用及び合否通知用封筒	郵便番号、住所（研究室不可）、氏名及び志望専攻名を明記。封筒の切手欄に指示してある金額の切手を貼付。合否通知用封筒には切手の貼付不要。
5	連絡受信先シール（出願時提出用）	<ul style="list-style-type: none"> ・郵便番号、住所（研究室不可）、氏名及び志望専攻名を明記。 ・出願後に転居等で連絡受信先を変更する場合は、教務課大学院担当に申し出ること。
6	出身大学（学部）の成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・本学工学部出身者は提出不要。 ・出願資格(7)による志願者は、高等学校及び最終出身学校等の学業成績証明書。 ・証明書の原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、公的な和訳又は英訳の原本を添付すること。
7	卒業（見込）証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・本学工学部出身者及び出願資格(9)による志願者は、提出不要。 ・出願資格(2)による志願者は、大学評価・学位授与機構が発行する学位授与（申請受理）証明書も提出。 ・証明書の原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、公的な和訳又は英訳の原本を添付すること。
8	【外国人留学生のみ提出】 最終出身学校の指導教員の推薦書	様式任意。本学工学部出身者は提出不要。
9	【外国人留学生のみ提出】 在留カード又は外国人登録証明書のコピー	本邦外に居住する外国人で本邦に上陸の日から60日を超えない外国人については代わりにパスポートのコピー。
10	志望理由書（とじ込み用紙⑩）	本学所定様式

11	研究室希望調査票（とじ込み用紙⑨）	本学所定様式。配属希望の研究室を必ず記入してください。
12	本学院が指定する外国語外部試験の公式スコアシートのコピー	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細は、「8. 外国語試験について」を参照すること。 ・英語により大学（院）教育を受けた外国人留学生のうち、スコアシートの提出の免除を希望する者は、「英語により大学（院）教育を受けてきたことを示す書類（大学等が公式に発行したものに限る）」を提出すること。 ・公式スコアシートの原本は、口頭試問の際に確認するので、口頭試問の際に持参すること。原本が確認できない場合、スコアが認められないことがあります。

④ 選考方法

学科試験（筆答・口頭）及び出願書類等の審査結果を総合して可否を決定します。

⑤ 学科試験の期日及び時間

試験期日	時間	試験科目		備考
平成30年 8月8日(水)	9:00～ 12:00	筆答試験	数学（3問）： 線形代数学（行列，固有値），微分積分学（1変数・多変数関数の微分・積分），微分方程式（1階微分方程式，線形微分方程式）各1問 物理（3問）： 力学（2問）（質点系と剛体，力の釣り合いと運動），熱力学（1問）（熱と気体分子の運動，熱力学の第一法則，第二法則） 化学（2問）： 化学結合と分子の構造，化学平衡，化学反応速度論	3科目8問のうちから4問を選択してください。
	13:00～ 16:00	筆答試験	流体工学（2問） 構造力学（2問） 土の力学（2問） 計画数理学（1問） 地質学基礎（2問） 物理化学（2問） 微生物工学（1問） 熱力学（1問） 反応工学（1問） 分離工学（1問） 環境統計学（1問） 地圏環境学（1問）	
8月9日(木)	9:00～ 12:00	口頭試問		

平成30年 5月

北海道大学大学院工学院

《連絡先》

〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目
 北海道大学工学系事務部
 教務課 大学院担当
 電話 (011) 706-6121

平成30年10月入学試験に関する要項

入学時期の変更はできないため、出願時には十分考慮して入学時期を選択すること。

一般入試

1. 募集人員

専攻	募集人員	専攻	募集人員
応用物理学	若干名	建築都市空間デザイン	若干名
環境フィールド工学	若干名	空間性能システム	若干名
北方圏環境政策工学	若干名		

2. 出願資格

10月入学を志願できる者は、次のいずれかに該当する者とする。

- (1) 大学を卒業した者及び平成30年9月卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者又は平成30年9月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年9月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年9月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成30年9月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（注1）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（注2）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は平成30年9月30日までに授与される見込みの者
（注1）その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。
（注2）当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成30年9月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
※各省庁所管の各種の教育訓練施設のうち、大学の学部に対応する教育課程を履修させているもの（防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、職業訓練大学校長指導員訓練課程、気象大学校大学部）を卒業した者及び平成30年9月までに卒業見込みの者等
- (9) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程若しくは我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認められた者（以下「飛び入学による志願者」という。）

(10) 本学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成30年9月30日までに22歳に達する者（以下「個別の資格審査による志願者」という。）

3. 出願時の注意事項

上記2. に該当する者は、出願時に入学時期を「平成30年10月」、「平成31年4月」、「平成30年10月または平成31年4月」のいずれかから選択出来るものとする。

入学時期を「平成30年10月または平成31年4月」と選択した場合は、1度の試験により、工学院により入学時期が決定される。

※ 上記以外の事項については、平成31年4月入学一般入試募集要項を参照すること。

平成30年5月

北海道大学大学院工学院

《連絡先》

〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目
北海道大学工学系事務部
教務課 大学院担当
電話 (011) 706-6121

長期履修の申請資格、申請手続き等について

1. 申請資格

長期履修を申請できる者は、次のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 官公庁、企業等に在職している者（給与の支給を受け、職務を免除されている者を除く。）又は、自ら事業を行っている者等フルタイムの職業に就いている者
- (2) アルバイト、パートタイム等の職業に就いている者で、学院において、その負担により修学に重大な影響があると認めたもの
- (3) 学院において、育児、親族の介護等前2号に準ずる負担により、修学に重大な影響があると認めた者
- (4) 視覚障害、聴覚障害、肢体不自由その他の障害を有している者で、学院において、その障害により長期にわたり修学に重大な影響があると認めたもの

2. 申請の手続き

長期履修を申請する者は、次の(1)～(4)の書類を入学願書に添えて提出してください。

申請書用紙の請求については、教務課大学院担当までご連絡ください。

- (1) 長期履修申請書及び理由書
- (2) 履修計画書
- (3) 長期履修が必要であることを証明する書類
- (4) 障害者手帳又は医師の診断書（上記1. 申請資格(4)に該当する者のみ提出）

3. 可否の通知

申請書類に基づき審査のうえ、可否を決定し、3月中旬に通知します。

4. 在学期間

長期履修学生として在学することを認められる期間は、1年を単位とし、修士課程にあつては3年から4年までとなります。

なお、各年度の修了月は、9月又は3月となっていますので、長期履修学生申請書に長期履修計画年数を記入してください。

5. 授業料の年額

長期履修学生の授業料年額は、授業料の年額に標準修業年限に相当する年数を乗じて得た額を許可された在学期間の年数で除した額となります。

詳しくは、教務課大学院担当にお問い合わせください。

6. 在学期間の短縮又は延長

長期履修学生で特別な事情がある場合は、在学する課程において、1回に限り期間の短縮又は延長を申請することができます。

(1) 在学期間の短縮

長期履修期間の短縮を認めることのできる期間は、修士課程にあつては、4年から3年への短縮の場合です。長期履修期間の1年短縮を希望する場合は、長期履修期間が終了する日の2年前までに「長期履修期間変更願」を提出し、許可を得なければなりません。

(2) 在学期間の延長

長期履修学生は、在学期間の延長をすることができます。

在学期間の延長を希望する者は、当初の長期履修期間が終了する日の1年前までに「長期履修期間変更願」を提出し、許可を得なければなりません。なお、在学期間は、修士課程4年を超えることができません。

(3) 在学期間の短縮又は延長の場合の授業料は、再計算されますが、いずれも在学期間に応じ過不足の調整がなされますが、既納の授業料は返還されません。

7. その他

不明の点については、教務課大学院担当までご連絡ください。